

1 事業内容

団体名	特定非営利活動法人まなざしの和
事業名	美原から釧路活性化プロジェクト
課題テーマ	地域経済の活性化、地域を担う人材育成
事業提案の背景	<p>釧路市美原地域は半世紀前には新興住宅地として1万人以上の住民が暮らし公設市場は子供を連れた家族で賑わっていた。その後民間のスーパーが生鮮食品の販売を担っていたが現在は撤退しドラックストアが出店している。スーパー撤退後は東部漁協で月に1回程度鮮魚の販売を行ってくれていたが2024年3月で終了となった。現在美原地域内には魚をはじめ生鮮食品を購入できる店が無く美原地域内で買い物をしている親子や子供達も見かけなくなった。住民の高齢化率も高くなり人口の半数以上を65歳以上が占めている状態で自家用車を所有していない住民にとっては生鮮食品の購入の困難さが悩みの種になっている。また美原の人口減少が続き現在では約6千人となってしまうあちこちで空き家が目立つようになっている。</p> <p>美原地区の人口増加を視野に入れ、他の地域にはない美原ならではの地域の中心にある大型の市場の跡地を生かし家族連れや子供達がかつてのように賑わい楽しめる場所、そして生鮮食品をはじめ地域の特産物なども気軽に購入できる場所の再構築を行う必要がある。併せて安心して暮らしていくために再構築した地域連携を生かした災害時の訓練を行う必要がある。</p>
事業目的	<p>美原地域は医療施設や金融機関、飲食店やドラックストア、釧路大規模運動公園も隣接されている恵まれた立地条件で何よりも地域の中心に大型駐車場を兼ね備えたショッピングセンターがある唯一の地域である。そこで釧路管内ならび道東の食品産業を通じて釧路（道東）の生産者、加工者、作家、地域の学生、地域市民が連携し「地域の食文化と産業の多様性、新たな学びの試み」を目的としたイベント、災害時の訓練を開催し美原の良さと安全性を広く知ってもらい釧路、美原が共に未来に繋がる持続可能な地域経済発展に貢献することを目的とする。</p>
事業内容	<p>1. 釧路みはらマルシェ</p> <p>月に1回美原ショッピングセンター内にて魚、肉、野菜、加工品などのミニ市場を開く。釧路を中心とした道東の生産者と連携し釧路の魅力ある特産物を販売することで美原への関心が高まる。また、規格外などの本来廃棄される生産物を販売することでSDGsへの関心も高める。釧路公立大学ボランティア部と共に企画から運営まで一緒に行うことで地域活動への参加意欲を高め、地域とのより良い絆を深めながら地域の人材の育成、</p>

	<p>活性化、若返り化のきっかけをつくる。</p> <p>2. 釧路みはらフェス 年に1回マルシェの日に合わせて美原ショッピングセンター内にて子供も楽しめるスポーツイベントを開催する。駐車場の一角にトランポリンなどの体験コーナーを設置し身体を動かす重要性和楽しみを実感してもらう。その他、大人から学ぶ昔おもちゃ遊び広場を開催し竹馬やけん玉などを体験してもらう事で日本の歴史を感じつつ文化を楽しみながら多世帯の交流を促進する。</p> <p>3. 釧路みはら de サバイバル ～災害時助ける側になる為に～ 年に1回釧路市立美原中学校体育館を使用し災害時の避難訓練を行う。避難者の受付・誘導方法、簡易トイレ設置訓練、段ボールベッド組立訓練等を行い避難場所の運営側としての学びの場を提供する。釧路市立美原中学校の生徒も一緒に訓練を行うことで有事の際にも助ける側としての意識を持つ人材を育成していく。次年度以降は釧路市社会福祉協議会よりレスキューキッチンを借り炊き出し訓練なども行う。</p>
事業展開	<p>1. 釧路みはらマルシェを9/21・10/12の2回開催した。出店店舗数は9/21は8店舗、10/12は12店舗でした。</p> <p>2. 釧路みはらフェスを10/12にマルシェと同時開催しました。全長約8mのエアートランポリンを使ったハイハイレースやお魚やアサリのつかみ取り、公立大学ボランティア部くしもり！と美原の中学生が担当したトライアスロンゲームコーナーなど子供から大人まで楽しめるイベントとなった。</p> <p>3. 釧路みはら de サバイバルを釧路市立美原中学校で行いました。当日は釧路市防災危機管理課、美原地区連絡協議会、美原地区防災推進協議会、釧路公立大学ボランティア部くしもり！釧路市防災士ネットワーク、釧路市立美原小学校と協同し、美原の防災力や関係団体との連携を強化しました。</p>
成果目標の達成状況	<p>釧路みはらマルシェ来場者200名を目指していましたが、9/21は約200名、10/12は約500名の方が来場されました。参加したい生産者、加工者、作家さんの出店数は、9/21は8店舗、10/12は12店舗でした。次年度20店舗以上に増やします。</p> <p>ショッピングセンター内に空き店舗がある事を美原内外の方達に広く知ってもらい新たな出店者を見つける目標では、美原以外の来場者が半数以上おり、美原の実情を広く広報すること</p>

	<p>が出来た。</p> <p>釧路市立美原中学校で行った防災授業では、釧路市防災危機管理課、美原地区連絡協議会、美原地区防災推進協議会、釧路市防災士ネットワーク、釧路公立大学ボランティア部くしもり！と協同し、防災や災害時の訓練等を行い美原の防災力や関係団体との連携をしました。美原小・中学校で開催した避難訓練には地域参加者は約１００名おりました。令和７年度はつくし幼稚園や美原児童館とも連携し、9/6に美原地区合同防災訓練を行う予定です。</p>
波及効果の達成状況	<p>プロジェクトにより今まで購入できなかった釧路の特産物や生鮮食品などを購入する事が出来た。それにより活性化された地域経済が地域内の他の産業にも良い影響を与えた。また、地域住民が一体となってさまざまな活動をする機会が増えることにより地域コミュニティの結束が強化されました。</p>
実施体制	<p>特定非営利活動法人まなざしの和 (6名 内理事長1名 監査2名)</p>
連携した市担当課	<p>無 ・ 有 (こども保健部 こども育成課) (総務部 防災危機管理課) (産業振興部 商業労政課)</p>
連携した市担当課が果たした役割 (※有の場合)	<p>こども保健部こども育成課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントの周知 ・ 竹馬やけん玉の貸出 <p>総務部 防災危機管理課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練当日の講話や講師 <p>産業振興部 商業労政課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場使用箇所の適正管理

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	100,000	
	32,700	売上
自己資金	510,522	
合 計	643,222	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
消耗品費	15,465	
使用料・賃借料	93,550	エアートランポリン・テント他
謝礼	10,000	元自衛官盛政様
役務費	6,195	保険料・振込手数料
印刷製本費	37,339	
委託料	300,000	お魚つかみ取り・会場警備・情報発信
小 計	462,549	
対象外経費		
食材費	30,673	
人件費	150,000	
小 計	180,673	
合 計	643,222	